



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



八千代市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第515号
2021年8月2日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

子どもたちに負担を強いる緑が丘西区域

「はぐみの杜」こと緑が丘西地域は、140ヘクタールの区域に約1万4千人の計画人口、小学校2校と中学校1校が配置される計画でした。

地域の人口が増え続けるなかで、今でもみどりが丘小学校1校のみしかなく、教室不足で学区の変更が繰り返され、18教室分の増築校舎借上を進めています。

一方で、中学校については地域を北と南の学区に分けて、遠く離れた高津中学校と睦中学校に通学しており、中学校の配置については、全く話が進んでいません。

遠く離れた中学校へ通う子どもたち

緑が丘西地域の子どもたちは、暑い日も寒い日も重たいバッグを抱えて、徒歩で40分から1時間近くかかる中学校へ通っています。

子どもたちにとっては、比べるものが無いので、言われるがまま通学していますが、遠く離れた学校へ通うということは、6月28日に八街市で発生した、トラックが小学生の列に突っ込んだ事故のように、悲惨な事故にも繋がりがかねないのです。

「緑が丘西地域に中学校を設置すべき」と要求

日本共産党は6月議会で、「緑が丘西地域へ中学校を設置すべきでは」と、教育委員会及び市長部局に対し、それぞれ「子どもたちの立場で」、「街づくりの視点」で、質問しました。

しかし、教育委員会は、「6年後も高津中と睦中の2校で対応できる」と、子どもたちの思いを踏みにじる答弁でした。

市長部局は、「公共施設等は公共施設等総合管理計画及び公共施設等個別施設計画」を基に公共施設削減ありきの答弁でした。

日本共産党は、各担当部署が市民に寄り添った考えや、暮らしやすい街づくりを示したうえで、中学校の設置を前向きに検討するように求めました。

八千代市 **参考リンク**
公共施設等個別施設計画



子どもたちを無視した学校適正配置はやめよ!

八千代市は、公共施設等個別施設計画を基に公共施設のおよそ6割を占める小・中学校を減らす計画であり、市内の小中学校33校中、22校を対象に7校に削減しようとしています。その目的は財政削減です。

すでに、米本団地と阿蘇地域の小学校3校が無くされようとしています。このことによって、緑が丘西地域と同じように、子どもたちは、遠く離れた学校へ通わなくてはならなくなるのです。つまり八千代市の計画によって、最も犠牲をしいられるのが子どもたちなのです。

日本共産党は、子どもたちが安心して学校へ通える八千代市にするために、引き続き議会で訴えていきます。